

2. プログラムの進め方

各プログラムは<導入><展開><まとめ>でできています。各プログラムのねらいや展開例はプログラムごとに記載しています。参加者の状況や人数、使用する場面や時間、場所等にあわせて展開の仕方を工夫してご活用下さい。

導入1 (学習のねらいの確認)

学習の最初に、各プログラムの偶数ページの内容を参考に、今日の学習のねらいや学習内容を参加者にきちんと伝えましょう。



導入2 (アイスブレイクとグループ分け)

初対面の緊張をほぐし、気軽に思いや考えを話せる雰囲気作りを行います。

話し合いを進めるための学習グループ（4人が最適）もつくりましょう。

グループに知り合いがかたまらないようにしましょう。

*参加者の雰囲気、アイスブレイクと次の3つの約束は順序を入れ替えることも可能です。



導入3 (ルールとマナーの3つの約束)

ワークを始める前に、参加者とともに必ず確認しましょう。



《3つの約束》

参加

積極的に参加しましょう。

自発的に話し合いに参加しましょう。特に、しっかり聴く姿勢を心がけましょう。もちろん、内容によっては「話さない」「パス」という選択もあります。

尊重




一人ひとりの考えを尊重しましょう。

どのような意見や発言も批判や否定をしないで傾聴しましょう。参加者一人ひとりの考えや思いが尊重されると、安心して話し合うことができます。

守秘

参加者の個人的な情報は守りましょう。

お互いの信頼がなければ話はできません。参加者個人の情報は、その場において帰り、他人に話したりしないようにしましょう。

	時間	主な活動	発言	留意点
導 入	10分	1. 学習のねらい	みなさん、こんにちは。進行役の〇〇です。今日は、みなさんと一緒に（ねらい：各プログラムを参照）について、考えていきたいと思ひます。この会を楽しく、充実した会にしたいと思ひますのでよろしくお願ひします。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 親しみやすい雰囲気明るくはっきりと話す。 参照：アイスブレイク編 (P7～) ・ 太字（参加・尊重・守秘）を掲示して確認する。 ・ 「積極的に参加」・「思ひを尊重」・「秘密を守る」をしっかりと押さえる。
		2. アイスブレイク	はじめに、ちょっと心と体をリラックスさせましょう。	
		3. ルールとマナーの確認	では、プログラムに入ります。最初にルールとマナーの確認をします。	
		<div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・・・話し合いには積極的に参加しましょう。もちろん、内容によっては「話さない」「パス」という選択もあります。 <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・・・参加者のみんなの考えや思ひをしっかり聴きましょう。みなさんが安心して、話ができるように、批判や否定をしないようにしましょう。 <div style="text-align: center;">  </div> <ul style="list-style-type: none"> ・・・今日の研修の中で聴いたことは、この場だけのこととして、他の所では話さないことをお願ひします。 <p>この3つのことをここでの約束にしたいと思ひます。</p>		

展開

始めにワークシートを配ります。今日の学習のねらいをみんなでもう一度確認して、始めましょう。ワークシートは終了後に回収する必要はありませんので、参加者に自由に使ってもらいましょう。

自分で考える

グループで話し合う

全体で紹介する

* 話し合いがスムーズに進んでいない場合や、発言者が偏っている場合にはファシリテータがサポートします。



まとめ

- 「ふりかえり」の時間はしっかりとりましょう。各グループ内でのふりかえりだけではなく、抽出グループを使った、全体でのふりかえりなど時間にあわせて工夫しましょう。
- 「評価」は必要ありません。良かった点、どんな点が良かったかをなるべく具体的に伝えましょう。
- 「ねらい」に合わせてファシリテータの思いを伝えながらまとめてみましょう。

<ファシリテータの方へ>

<事前準備>

- 参加者のニーズをしっかりと把握し、プログラムを選択しましょう。

<当日の進行>

- 参加者同士が語り合うことを中心に、ワークショップを進めましょう。ファシリテータは「上手な聴き手」になりましょう。
- 参加者一人ひとりを尊重し、安心して参加できるようにしましょう。しゃべりすぎている人や孤立・傍観者はいないか気をつけましょう。
- 一人ひとりの発言に耳を傾け、プログラムの進行に生かしましょう。
- 参加が困難な人には「見るだけでもいいですよ」など肯定的な声かけを行いましょう。

～してはいけないこと～

- 参加者への発言の強要や、故意に一部の人だけの意見を聞くこと。
- 参加者の発言を批評したり、自分の意見を押しついたりすること。
- プログラムの中で知った参加者個人の情報を他人にもらすこと。



<用語解説>

●アイスブレイク

初めて出会った人たちが簡単なゲームなどをするすることで、緊張感がほぐれて、話しやすい雰囲気になり、主たる活動にスムーズに入れるようなきっかけをつくる技法です。

●ワークショップ

小グループで意見交換や共同作業を進める参加型学習です。

自分の意見をまとめる時間（個人ワーク）とグループで情報交換したり、話し合ったりする時間（グループワーク）で構成されています。

●ロールプレイ

あらかじめ決められた役割（ロール）を演じることにより、その人の立場や考え、気持ちを理解することをねらいとした技法です。

